

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2012-143565

(P2012-143565A)

(43) 公開日 平成24年8月2日(2012. 8. 2)

(51) Int.Cl.
A45C 7/02 (2006.01)F I
A45C 7/02テーマコード (参考)
3B045

審査請求 未請求 請求項の数 23 O L (全 15 頁)

(21) 出願番号 特願2012-3108 (P2012-3108)
 (22) 出願日 平成24年1月11日 (2012. 1. 11)
 (31) 優先権主張番号 13/005, 318
 (32) 優先日 平成23年1月12日 (2011. 1. 12)
 (33) 優先権主張国 米国 (US)

(71) 出願人 507012283
 トゥミ、インコーポレイティド
 アメリカ合衆国、ニュージャージー 07
 080、サウス プレインフィールド、ダ
 ーラム アベニュー 1001
 (74) 代理人 100099759
 弁理士 青木 篤
 (74) 代理人 100102819
 弁理士 島田 哲郎
 (74) 代理人 100123582
 弁理士 三橋 真二
 (74) 代理人 100141081
 弁理士 三橋 庸良
 (74) 代理人 100153729
 弁理士 森本 有一

最終頁に続く

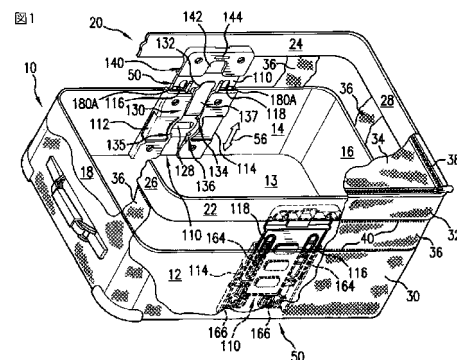
(54) 【発明の名称】 旅行かばん拡張システム

(57) 【要約】

【課題】 容積を変えられる旅行かばんを改良する。

【解決手段】 拡張可能な旅行かばんに取り付けるブラケット・アセンブリは、ベースと、第一及び第二のスライド部材と、レバーを有する。ベースは複数のスロットを有し、複数の凹みがスロットの間にあり、実質的に平らな側壁を有する。レバーがロックされる位置にあるとき、結合部分は少なくとも部分的に凹みのひとつの内部に位置し、切り欠きが側壁と係合して、レバーとスライド部材がスロットと平行に動くことを阻止する。レバーがロックされない位置にあるとき、停止ペグはレバーがロックされる位置に対して180度より大きく回ることを阻止し、レバーとスライド部材はベースに対してスロットと平行に自由に動くことができる。レバーとスライド部材は複数の拡張位置の間で動くことができる。

【選択図】 図1



【特許請求の範囲】

【請求項 1】

拡張可能な旅行かばんに取り付けるブラケット・アセンブリにおいて、
前記ブラケット・アセンブリは、
ベースであって、該ベースはその対向する辺の少なくとも一部分に沿って延びる第一及び第二のスロットと該スロットの間に位置する複数の凹みを有し、実質的に平らな側壁を有する、ベースを備え、

前記ブラケット・アセンブリは、さらに、
第一及び第二のスライド部材であって、各々が、

該ベースに向いた第一の表面から延びる突起、該第一のスライド部材の該突起は該第一のスロット内に摺動可能に位置し、該第二のスライド部材の該突起は該第二のスロット内に摺動可能に位置する突起と、

内側側壁における孔と、

該内側側壁から延びる停止ペグと、を有する、第一及び第二のスライド部材を備え、
前記ブラケット・アセンブリは、さらに、
レバーであって、

ハンドルと、

該レバーから反対方向に延びる第一及び第二のペグであって、該第一のペグは該第一のスライド部材の孔の内側に位置し、該第二のペグは該第二のスライド部材の孔の内側に位置し、該レバーの少なくとも部分的な回転運動を可能にする、第一及び第二のペグと、

切り欠きを有する結合部分とを有する、レバーを備え、

該レバーが複数のロックされる位置のひとつにあるとき、該結合部分は該凹みのひとつの内部に少なくとも部分的に位置し、該切り欠きは該側壁と係合して該レバーとスライド部材が該ベースに対して該スロットと平行に動くことを阻止し、

該レバーがロックされない位置にあるとき、該停止ペグは該レバーが該ロックされる位置に対して180度よりも大きく回転することを阻止し、該レバーとスライド部材は該ベースに対して該スロットと平行に動くことができる、ことを特徴とするブラケット・アセンブリ。

【請求項 2】

該ベースはさらに該スロットの近くに該スロットと実質的に平行に第一及び第二のレールを有する請求項 1 に記載のブラケット・アセンブリ。

【請求項 3】

該複数の凹みは該スロットと平行な直線上で間隔をあけていることを特徴とする請求項 1 に記載のブラケット・アセンブリ。

【請求項 4】

該凹みの数は 2 であることを特徴とする請求項 1 に記載のブラケット・アセンブリ。

【請求項 5】

該凹みの数は 3 であることを特徴とする請求項 1 に記載のブラケット・アセンブリ。

【請求項 6】

該スライド部材（複数）は実質的に同一であることを特徴とする請求項 1 に記載のブラケット・アセンブリ。

【請求項 7】

該スライド部材は L 字形であることを特徴とする請求項 1 に記載のブラケット・アセンブリ。

【請求項 8】

引き手が該ベースに結合していることを特徴とする請求項 1 に記載のブラケット・アセンブリ。

【請求項 9】

該引き手は網目で作られていることを特徴とする請求項 8 に記載のブラケット・アセンブリ。

10

20

30

40

50

【請求項 10】

各スライド部材はさらに溝を有し、該第一のスライド部材の溝は該第一のレールに摺動可能に係合し、該第二のスライド部材の溝は該第二のレールに摺動可能に係合することを特徴とする請求項 1 に記載のブラケット・アセンブリ。

【請求項 11】

各スライド部材はさらに、該第一の表面から延びて L 字形を形成する第一の部分を有する外側側壁を有し、該第一の部分は該ベースの側壁に近く位置していることを特徴とする請求項 1 に記載のブラケット・アセンブリ。

【請求項 12】

該ペグは該レバーを該スライド部材に結合して該ベースに対して該スロットと平行に運動させることを特徴とする請求項 1 に記載のブラケット・アセンブリ。

10

【請求項 13】

該ペグの長さは、該スライド部材のフレキシブルな動きのために該スライド部材が該ハンドルから離れることができる最大距離よりも大きいことを特徴とする請求項 1 に記載のブラケット・アセンブリ。

【請求項 14】

該レバーは該ベースよりも大きな強度を有することを特徴とする請求項 1 に記載のブラケット・アセンブリ。

【請求項 15】

該複数のロックされる位置は縮めた位置と少なくとも一つの拡げた位置を有することを特徴とする請求項 1 に記載のブラケット・アセンブリ。

20

【請求項 16】

該ブラケット・アセンブリはさらに、該レバーが少なくとも一つの拡げた位置にあることを示す少なくとも一つのしるしを有する請求項 15 に記載のブラケット・アセンブリ。

【請求項 17】

該ベースはさらに、該スロットの第一端の近くに凹部を有し、該レバーが最も大きく拡げた位置にあるとき該第一端は該第一のスライド部材突起に近いことを特徴とする請求項 15 に記載のブラケット・アセンブリ。

【請求項 18】

該スライド部材は各々さらに第二の突起を有し、該レバーが縮めた位置にあるとき、各スライド部材の該第二の突起は対応する該ベースの凹部に当接することを特徴とする請求項 17 に記載のブラケット・アセンブリ。

30

【請求項 19】

該ベースはさらに、高くなっているプラットホームを有し、該レバーが縮めた位置にあるとき、該スライド部材は該プラットホームに当接することを特徴とする請求項 15 に記載のブラケット・アセンブリ。

【請求項 20】

該高くなっているプラットホームはさらにへこみを有し、該レバーが縮めた位置にあるとき、該ハンドルが少なくとも部分的に該へこみ内に収まっていることを特徴とする請求項 19 に記載のブラケット・アセンブリ。

40

【請求項 21】

旅行かばん拡張システムにおいて、
容積を画定する第一の枠成分と第二の枠成分を有する旅行かばんと、
ブラケット・アセンブリとを有し、
該ブラケット・アセンブリが、

ベースであって、該ベースはその対向する辺の少なくとも一部分に沿って延びる第一及び第二のスロットと該スロットの間に位置する複数の凹みを有し、実質的に平らな側壁を有する、ベースと、

第一及び第二のスライド部材であって、その各々が、

該ベースに向いた第一の表面から延びる突起であって、該第一のスライド部材の該

50

突起は該第一のスロット内に摺動可能に位置し、該第二のスライド部材の該突起は該第二のスロット内に摺動可能に位置する突起と、

内側側壁における孔と、

該内側側壁から延びる停止ペグとを有する、第一及び第二のスライド部材と、

レバーであって、

ハンドルと、

該レバーから反対方向に延びる第一及び第二のペグ、該第一のペグは該第一のスライド部材の孔の内側に位置し、該第二のペグは該第二のスライド部材の孔の内側に位置し、該レバーの少なくとも部分的な回転運動を可能にする、第一及び第二のペグと、

切り欠きを有する結合部分とを有する、レバーを有し、

該レバーが複数のロックされる位置のひとつにあるとき、該結合部分は該凹みのひとつの内部に少なくとも部分的に位置し、該切り欠きは該側壁と係合して該レバーとスライド部材が該ベースに対して該スロットと平行に動くことを阻止し、

該レバーがロックされない位置にあるとき、該停止ペグは該レバーが該ロックされる位置に対して180度よりも大きく回転することを阻止し、該レバーとスライド部材は該ベースに対して該スロットと平行に動くことができ、

該スライド部材は旅行かばんの該第一の枠成分に固定され、該ベースは旅行かばんの該第二の枠成分に固定され、該スライド部材の該ベースに対する動きが該第二の枠成分の該第一の枠成分に対する対応する動きを生じて旅行かばんの容積を変えることを特徴とする旅行かばん拡張システム。

【請求項22】

該旅行かばんはさらにガセットを有し、旅行かばんにはガセットのまわりにジッパーがないことを特徴とする請求項21に記載の旅行かばん拡張システム。

【請求項23】

拡張可能な旅行かばんに取り付けるブラケットの組立方法において、

ベースであって、ベースの対向する辺の少なくとも一部分に沿って延びる第一及び第二のスロットと、該スロットの間に位置し実質的に平らな側壁を有する複数の凹みを有するベース、第一の表面から延びる突起と内側側壁における孔と該内側側壁から延びる停止ペグを有する第一及び第二のスライド部材、及びレバーであって、ハンドルと該レバーから反対方向に延びる第一及び第二のペグと切り欠きを有する結合部分を有するレバー、を形成するステップと、

該第一のスライド部材の突起を該第一のスロット内に、該第二のスライド部材の突起を該第二のスロット内に摺動可能に取り付けるステップと、

該第一のペグを該第一のスライド部材の孔の内側に、該第二のペグを該第二のスライド部材の孔の内側に、該レバーの少なくとも部分的な回転運動が可能になるように配置するステップとを備えた方法。

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本発明は、拡張可能な旅行かばんのためのシステムに関し、詳しくは、望むように拡張したり縮めたりできる拡張可能な旅行かばんのためのブラケットに関する。

【背景技術】

【0002】

旅行者が必要とする旅行かばんのスペースは、旅行の期間、衣服やその他の必要な身の回り品のタイプに関わる旅行の性格、及び目的地の気候、などによって大きく異なる。例えば、目的や気候に関わりなく、短期の旅行では旅行者は長期の旅行ほど大きなかばんスペースを必要としない。一般にビジネス旅行者は、レクリエーション旅行者ほど、特にカジュアルな衣服とドレスの両方を必要とする旅行者ほど、大きなかばんスペースを必要としない。

【0003】

大きな旅行かばんスペースの必要と小さな旅行かばんスペースの必要の両方に旅行者が対処するための一つのやり方は、ある旅行には中程度のサイズのスーツケースを用い、別の旅行には大きな旅行かばんを用いることである。もう一つのやり方は、中程度のサイズのスーツケースを二つ所持し、可能なときはひとつだけ用い、大きな容量が必要なときは二つ用いることである。また、様々な拡張可能な旅行かばんが提案されている。拡張可能な旅行かばんは、2つ以上の旅行かばんを買う費用に比べて費用の節約になる可能性がある。

【0004】

運送業者は、一つの受託手荷物にもますます高い料金を課すようになっているので、旅行者は乗物に持ち込めるサイズ条件を満たす旅行かばんを望んでいる。さらに、旅行かばんを拡張できると、旅行者は旅の途中で携行できる容量を変更することができる。旅行者が旅で買い物をしたために目的地への往きの旅より帰りの旅で大きなかばんスペースを必要とすることはよくある。

【先行技術文献】

【特許文献】

【0005】

【特許文献1】米国特許第7281616号明細書

【発明の概要】

【発明が解決しようとする課題】

【0006】

容積を変えられる旅行かばんとして従来知られているものは、ほとんどが、縮めることができる拡張可能なセクションをメイン・セクションに固定できるようになっているダッフル・バッグなどの“ソフト”タイプである。現在利用できる拡張可能な“ハード”な旅行かばんでは、上げたときに別々の剛体の枠成分の連結が不十分で互いに離れるために剛性が不足する。この問題に対処しようとした実質的に剛体の枠を有する拡張可能な旅行かばんの一つが特許文献1に記載されており、その開示内容は参照によって全体が本明細書に組み込まれる。しかしながら、あらゆるタイプの旅行かばんを容易に上げたり縮めたりするのに使用できる旅行かばんの堅牢なブラケットの必要性は依然として残っている。

【課題を解決するための手段】

【0007】

本発明の目的と利点は、以下の記述から明らかになるが、同時に開示される発明の実施によって知ることができる。本発明のその他の利点は、特許請求の範囲、並びに添付の図面で具体的に示された方法及びシステムによって実現され、達成される。

【0008】

これらの利点及びその他の利点を達成するために、具体的に広範に記載された本発明の目的に応じて、本発明は拡張可能な旅行かばんのためのシステム、特に拡張可能な旅行かばんのためのブラケット・アセンブリを有する。ベースを有する旅行かばんに取り付けられるブラケット・アセンブリが提供される。ベースは、その対向する辺の少なくとも一部に沿って延びる第一及び第二のスロットと、それらのスロットの間にあり実質的に平らな側壁を有する複数の凹みを有する。ブラケットは、さらに、第一及び第二のスライド部材を有する。各スライド部材はベースに向いた第一表面から延びる突起を有する。第一のスライド部材の突起は第一のスロット内に摺動可能に位置し、第二のスライド部材の突起は第二のスロット内に摺動可能に位置する。各スライド部材はまた、内側側壁に孔を有し、内側側壁から延びる停止ペグ(stopping peg)を有する。ブラケットはさらにレバー(lever)を有する。レバーは、ハンドルを有し、レバーの対向する側面から延びる第一及び第二のペグを有する。第一のペグは第一のスライド部材の孔の内側に位置し、第二のペグは第二のスライド部材の孔の内側に位置し、レバーの少なくとも部分的な回転運動を許すように配置される。レバーはまた、切り欠きを有する結合部分を有する。レバーが複数のロック位置のひとつにあるとき、結合部分は少なくとも部分的に凹みのひとつに位置し、切り欠きが側壁と係合してレバーとスライド部材がベースに対してスロットと平行に動く

10

20

30

40

50

ことを阻止する。レバーがロックされない位置にあるとき、停止ペグはレバーがロックされる位置に対して180度より大きく回転することを阻止し、レバーとスライド部材はベースに対してスロットと平行に移動することができる。

【0009】

いくつかの実施形態では、ベースはスロットの近くにそれと実質的に平行な第一及び第二のレールを有する。ベースはスロットの第一端に近い凹部 (concavities) を有することができ、レバーが最も遠く上げた位置にあるときスライド部材の突起に近くなることができる。スライド部材は溝を有することができ、第一のスライド部材の溝は第一のレールと摺動可能に係合し、第二のスライド部材の溝は第二のレールと摺動可能に係合する。

【0010】

いくつかの実施形態では、該いくつかの凹みはレールと実質的に平行な直線上で間隔をおいて位置している。凹みの数は、2, 3, 又はその他のどんな適当な数であってもよい。いくつかの実施形態では、該複数のロックされる位置は、縮めた位置と少なくとも一つの上げた位置を有する。ブラケットはレバーが縮めた位置又は少なくとも一つの上げた位置にあることを示すし (indicia) を有することができる。

【0011】

いくつかの実施形態では、スライド部材は実質的に同一であり、L字型であってよい。さらに、スライド部材は、第一の表面から延びてL字型を形成する第一の部分を有する外側側壁を有することができる。第一の部分はベースの側壁の近くに位置することができる。スライド部材は第二の突起を有することができ、レバーが縮めた位置にあるときに第二の突起は凹部に当接する。

【0012】

いくつかの実施形態では、ペグがレバーをスライド部材に結合してベースに対してスロットと平行に動くようにする。ペグは、スライド部材がフレキシブルな動きによってハンドルから離れることができる最大距離よりも大きな長さを有することができる。レバーはベースよりも大きな強度を有することができる。

【0013】

いくつかの実施形態では、ベースは、開口とへこみを有して高くなっているプラットホームを有し、レバーが縮めた位置にあるとき、スライド部材はこのプラットホームに当接する。いくつかの実施形態では、レバーが縮めた位置にあるとき、ハンドルが少なくとも部分的にくぼみ内にある。

【0014】

いくつかの実施形態では、引き手 (a pull) がベースに結合される。引き手は網目で作ることができる。

【0015】

本発明はまた、旅行かばん拡張システムを有する。旅行かばん拡張システムは、容積を画定する第一の枠成分と第二の枠成分を有する旅行かばんを有する。旅行かばん拡張システムは、また、ブラケット・アセンブリを有する。ブラケット・アセンブリは、本明細書で上述した特徴のいずれかを有することができる。スライド部材は旅行かばんの第一の枠成分に固定され、ベースは旅行かばんの第二の枠成分に固定される。ベースに対するスライド部材の動きは、第一の枠成分に対する第二の枠成分の対応する動きを生じ、旅行かばんの容積を変える。

【0016】

いくつかの実施形態では、旅行かばんはガセット (gusset) を有し、旅行かばんはガセットのまわりでジッパーを用いないようにすることができる。

【0017】

本発明はまた、ブラケット・アセンブリを組み立てて拡張可能な旅行かばんにする方法を有する。この方法は、ベースの対向する辺の少なくとも一部分に沿って延びる第一及び第二のスロットと、スロットの間に位置する複数の凹みを有し、実質的に平らな側壁を有するベースを形成するステップを有する。この方法はまた、第一の表面から延びる突起と

10

20

30

40

50

、内側の側壁における孔と、内側側壁から延びる停止ペグを含んだ第一及び第二のスライド部材を形成するステップを有する。方法はまた、ハンドルを有するレバーと、レバーの対向する側面から延びる第一及び第二のペグと、切り欠きを有する結合部分を形成するステップを有する。方法は、第一のスライド部材の突起を第一のスロット内に取り付け、第二のスライド部材の突起を第二のスロット内に取り付けるステップを有する。方法は、第一のスライド部材の孔に第一のペグを位置させ、第二のスライド部材の孔に第二のペグを位置させて、レバーの少なくとも部分的な回転運動を可能にするステップを有する。ブラケット・アセンブリは本明細書で上述した特徴のいずれかを有することができる。

【0018】

本発明はまた、拡張可能な旅行かばんを拡張する方法を有する。この方法は、レバーをロックされない位置に回すステップを有する。ロックされない位置で、停止ペグはレバーが第一の位置に対して180度より大きく回ることを阻止する。この方法はまた、レバーとスライド部材をベースに対してスロットと平行にスライドさせるステップ、及びレバーを第二の位置にロックするステップを有する。第二の位置では、結合部分は少なくとも部分的に複数の凹みのうち第二の凹み内に位置し、切り欠きが第二の凹みの側壁と係合してレバーとスライド部材がベースに対してスロットと平行に動くことを阻止する。

【0019】

いくつかの実施形態では、第一の位置が縮めた位置であり、第二の位置が拡げた位置である。いくつかの実施形態では、この方法はレバーを別の位置にロックするステップを有する。この別の位置では、結合部分は複数の凹みのうち別の凹み内に少なくとも部分的に位置し、切り欠きがこの別の凹みの側壁と係合してレバーとスライド部材がベースに対してスロットと平行に動くことを阻止する。

【0020】

上述の一般的な記述も以下の詳細な記述も例示的なものであり、特許が請求される本発明についてのさらに詳しい説明を意図したものであることは言うまでもない。

【0021】

添付の図面は、本明細書に組み込まれてその一部を成すものであるが、本発明の方法とシステムについて図示して理解を深めるために含められたものである。説明と合わせて、図面は本発明の原理を説明することに役立つ。

【図面の簡単な説明】

【0022】

【図1】図1は、本発明に関わるある典型的な実施形態を一部切り欠いて斜め前方から見た形で示す概略絵画図である。

【図2A】図2Aは、縮めた位置でロックされた拡張ブラケットを示す正面図である。

【図2B】図2Bは、ロックされない位置で拡張ブラケットを示す正面図である。

【図2C】図2Cは、拡げた位置でロックされた拡張ブラケットを示す正面図である。

【図2D】図2Dは、別の拡げた位置でロックされた拡張ブラケットを示す正面図である。

【図3】図3は、拡張ブラケットのベースを示す正面図である。

【図4A】図4Aは、レバーがロックされた位置にある拡張ブラケットを一部切り欠いて示す側面図である。

【図4B】図4Bは、レバーがロックされない位置にある拡張ブラケットを一部切り欠いて示す側面図である。

【図5】図5は、拡張ブラケットのスライド部材を示す斜視図である。

【図6】図6は、拡張ブラケットのスライド部材を示す正面図である。

【図7】図7は、拡張ブラケットのスライド部材を示す側面図である。

【図8】図8は、拡張ブラケットのスライド部材を示す上面図である。

【図9】図9は、拡張ブラケットのスライド部材を示す背面図である。

【図10】図10は、拡張ブラケットのレバーを示す正面図である。

【発明を実施するための形態】

10

20

30

40

50

【0023】

以下、本発明の典型的な実施形態について、その一例を添付図面で示して詳しく説明する。本発明の方法及び対応するステップがシステムの詳細な説明と併せて記述される。

【0024】

本明細書で開示されるように、本発明の装置と方法は拡張可能な旅行かばんを拡張するために用いることができる。特に、本発明は拡張可能な旅行かばんのためのブラケットを作り使用するのに適している。

【0025】

典型的な実施形態が図1に示されているが、これは説明と図示のためであって限定するものではない。図示のように、図1に示された実施形態は二つの枠成分を有し、それらの材料、組立て方、及びパーツの形態に関しては適当などな構成であってもよい。図1に示されているように、旅行かばんはメイン枠成分10を有し、それは一対の長方形の平坦な側壁パネル12と14と、底部壁面部材16と上部壁面部材18を有し、それらは実質的に剛性であり、コーナーで剛体的に結合されている。図1は底部及び上部部材をパネルとして示しているが、現在市販されているたいていの旅行かばんは車がついて引くことができるタイプである。実際には、このような旅行かばんでは、底部及び上部部材、並びにメイン枠の他の部材も、車と、引くためのハンドルと、キャリー・ハンドルを受容するように構成できる。メイン枠成分10は、また、一部又は全体が剛体の背壁パネル13を有することができる。二次枠成分20は対向する長方形の平坦なパネル22と24、及び、実際問題としてそれらもやはり長方形のシート材料の平坦なパネルになるであろう上部部材と底部部材26と28、で構成することができる。

【0026】

メイン枠成分10には、耐久性の高い布のカバー30をかぶせることができる。二次枠の側面、底部と上部には、布のカバー32をかぶせることができる。旅行かばんの内部へのアクセスは、底部エッジでカバー32に結合され、3つの辺に沿ってジッパーで開閉されるパネル34で閉じられる正面の開口によって行われる。

【0027】

旅行かばんのメイン部分（メイン枠10とそのカバー30）は、耐久性の高いフレキシブルな材料で作られて旅行かばんの全周に沿って（上部壁面、底部壁面、及び両側壁に沿って）延びるガセット（gusset）36によって、二次部分（二次枠20とそのカバー32、34）に結合される。かばんが拡張された状態で、ガセット36はメイン・コンパートメントの全容積を周縁で限っており、それによって二次ユニットをメイン・ユニットから離すように動かしてかばんの容積を増やすことができる。旅行かばんを縮めた（容積が小さい）位置で（図示せず）、全周縁のまわりに延びているジッパーを用いて旅行かばんを縮めた位置に保持するのを助けることができる。あるいはまた、旅行かばんはガセットのまわりにジッパー40なしに作って、ブラケット・アセンブリ50によって縮めた位置に保つこともできる。ガセット36は旅行かばんの内部に畳みこむことができる。

【0028】

メイン枠成分10は、好ましくは互いに同一であって、そのひとつは側方パネル12と22に、もうひとつは側方パネル14と24に結合される2つのブラケット・アセンブリ50によって、二次枠成分20に結合される。

【0029】

図2A-2Dに示されるように、各ブラケット・アセンブリ50は、二次枠成分20の長方形の平坦パネル22、24の内側表面に固定具で取り付けられるベース110と、ベース110内に摺動可能に受容され、メイン枠成分10の長方形の平坦側方パネル12、14の内側表面に固定具で取り付けられる2つのスライド部材112、114から成る。あるいはまた、この構成を入れ替えて、ベース110をメイン枠成分に取り付け、スライド部材112、114を二次枠成分20に取り付けることもできる。スライド部材112、114は、ベース110に対して、かばんを縮めた位置とかばんを拡張した位置の間で図2A-2Dに示されるように摺動可能である。（分かりやすくするために、スライド部材

の摺動運動の軸は垂直軸に、すなわち図1の矢印56で定められる軸にとられる)。ベース110とスライド部材112, 114はポリプロピレン又はその他の適当な材料で作って、強度を確保しつつ、かばんの枠成分10, 20, ベース110, 及びスライド部材112, 114の限られたフレキシブルな動きを可能にするようにできる。

【0030】

説明のためであって限定するものではない図3に示されるように、ベース110は、対向する辺の少なくとも一部分に沿って延び、底面150と実質的に平坦な側壁152を有する一对のスロット(slot)116, 118を有する。スロット116, 118は卵形又はその他の適当な形態であってよい。

【0031】

ベース110は、スロット116, 118の間に位置する複数の凹み(recess)124, 126, 128を有し、説明するためであって限定するものではない図4Bに示されているように、それらは底面150及び実質的に平らな側壁152を有する。凹み124, 126, 128はスロット116, 118と平行な直線上で間隔をあけている。

【0032】

図3に示されるように、一对の隆起(ridge)120, 122をベース110上でスロット116, 118の近くに実質的に平行に形成することができる。一对の凹部168, 170をベース110に、スロット116, 118の端の近くに形成することができる。これについては以下でさらに詳しく述べる。ベース110は、高くなっているブラットホーム140を有することができ、それは開口144とへこみ142を有する。説明するためであって限定するものではない図2B-2Dに示されているように、引き手199を開口144内に取り付けることができる。引き手199は綱目又は布で作ることもでき、ループであってもよい。引き手199は握ることができる延長部分となり、ユーザーはそれを握ってかばんのブラケット50を引いてベース110をスライド部材112, 114に対して動かすことができる。

【0033】

説明するためであって限定するものではない図2C、2D、及び3に示されるように、ベース110はブラケットがひとつ以上の位置にあることを示すしるし(jndicia)180A, 180Bを有することができる。ブラケットが対応する位置にあるときに、スライド部材112, 114の一部が対応するカラー又はシンボル、又は他の適当なしるし180A, 180Bに隣接した位置になるようにすることができる。例えば、しるし180Aは第一の拡げた位置に対応する黄色のステッカー、又は他の適当なしるし、であり、しるし180Bは別の拡げた位置に対応する赤色のステッカー、又は他の適当なしるしであってよいが、それに限定されない。縮めた位置、又はいくつかの拡げた位置を示すために別のしるしを含めることもできる。

【0034】

スライド部材112, 114は実質的に同一であってよい。それにより少数の鋳型を用いてブラケット・アセンブリ50のコンポーネントを形成することが可能になる。説明するためであって限定するものではない図5-9に示されるように、スライド部材112はベース110の第一の表面から延びる突起164を有する。図3に示されるように、各スライド部材112, 114の突起164はベース110の対応するスロット116内に摺動可能に位置する。スライド部材112は内側側壁157に孔156を有し、内側側壁157から延びる停止ペグ133を有する。スライド部材112は内側側壁157から延びる別の停止ペグ135を有することができる。別の停止ペグ135はスライド部材112がスライド部材114と実質的に同一になるようにし、パーツが交換可能になるようにして、以下で述べるようにさらに機能性を高める。

【0035】

図8に示されるように、スライド部材はL字型になるように、外側側壁162がスライド部材112の表面から延びてL字型を形成することができる。各スライド部材112, 114の側壁162は、図3に示されるように、ベース110の対応する側壁121, 1

10

20

30

40

50

23の近くに位置して支持する働きをし、ベース110に対するスライド部材112、114の側方への動きを制限することができる。スライド部材112は溝160を有することができる。各スライド部材112、114の溝160は、図3に示されるように、ベース110の対応するレール120、122と摺動可能に係合して支持する働きをし、垂直軸に沿ってベース110に対して摺動しやすくすると同時に、スライド部材112、114の側方への動きを制限することができる。スライド部材112はまた、図9に示されるように、例えば第二の突起166を有することができる。第二の突起166はスライド部材112がスライド部材114と実質的に同一になるようにし、パーツが交換可能になるようにして、以下で述べるようにさらに機能性を高める。

【0036】

限定するものではないが、図4A-4Bに示されるように、レバー130はハンドル132と、レバー130から反対方向に延びるペグ154、155（説明するためであって限定するものではない図10に示されるように）を有する。各ペグ154、155はスライド部材112、114の対応する孔156、158内に位置し、レバー130の少なくとも部分的な回転運動を可能にするように配置される。ペグ154、155は、丸くても、又は対応する孔156、158内に位置するのに適当な他のどんな形であってもよい。ペグ154、155は、レバー130をスライド部材112、114と結合させてベース110に対してスロット116、118と平行に移動するようにする。ペグ154、155は、スライド部材112、114とベース110のフレキシブルな動きによってスライド部材112、114がハンドル132から離れることができる最大距離よりも大きな長さにすることができる。レバー130はまた、切り欠き138との結合部分139を有する。レバー130はベース110よりも大きな強度を有することができる。例えば、レバー130はナイロン・プラスチック又はその他の適当な材料で作って、強度を大きくし、たわみにくくして、ペグ154、155のたわみによってレバー130がスライド部材112、114から外れることを防ぐことができる。

【0037】

図4Aは、ロックされた位置にあるレバー130を示す。レバー130がロックされた位置にあるとき、結合部分139は少なくとも部分的に凹み124、126、128のいずれかの内部にあり、切り欠き138はこの凹みの側壁、例えば側壁152、と係合してレバー130とスライド部材112、114がベース110に対してスロット116、118と平行に動くことを阻止する。

【0038】

図4Bは、ロックされない位置にあるレバー130を示す。レバー130がロックされない位置にあるとき、スライド部材112、114の各停止ペグ133、134はレバー130がロックされた位置に対して180度より大きく回るのを防ぎ、レバー130とスライド部材112、114はベース110に対してスロット116、118と平行に自由に動くことができる。

【0039】

本発明の別の様態では、ブラケット50を組み立てる方法が提供される。この方法は、ベース110の対向する辺の少なくとも一部分に沿って延びる第一及び第二のスロット116、118と、スロット116、118の間にあって実質的に平らな側壁152を有する複数の凹み124、126、128を有するベース110を形成するステップを有する。この方法はまた、第一の表面から延びる突起164、166と、内側側壁157における孔156、158と、内側側壁157から延びる停止ペグ133、134を有する第一及び第二のスライド部材112、114を形成するステップを有する。この方法はまた、レバー130を形成するステップを有し、レバー130はハンドル132と、レバー130の対向する側面から延びる第一及び第二のペグ154、155と、切り欠き138を有する結合部分139を有する。この方法は、第一のスライド部材112の突起164を第一のスロット内に、そして第二のスライド部材114の突起164を第二のスロット118内に、摺動可能に取り付けるステップを有する。この方法は、第一のペグ154を第一

10

20

30

40

50

のスライド部材 112 の孔 156 内に、そして第二のペグ 155 を第二のスライド部材 114 の孔 156 内に、レバー 130 の回転運動を可能にするように配置するステップを有する。ブラケット 50 は、本明細書で上述した特徴のいずれかを有することができる。

【0040】

本発明の別の様態では、ブラケット 50 を広げる方法が提供される。拡張可能な旅行かばん 10 はベース 110 を有し、それはベース 110 の対向する辺の少なくとも一部分に沿って延びる第一及び第二のスロット 116, 118 と、スロット 116, 118 の間にあって底面 150 と実質的に平らな側壁 152 を有する複数の凹み 124, 126, 128 を有する。拡張可能な旅行かばん 10 はまた、スライド部材 112, 114 を有し、各々が表面から延びる突起 164 と、内側側壁 157 における孔 156, 158 と、内側側壁 157 から延びる停止ペグ 133 を有する。拡張可能な旅行かばん 10 はまた、レバー 130 を有し、それはハンドル 132 と、レバー 130 から反対方向に延びるペグ 154, 155 と、切り欠き 138 を有する結合部分 139 を有する。

10

【0041】

実際には、各スライド部材 112, 114 の対応する突起 164 はスロット 116, 118 内に摺動可能に取り付けられる。各ペグ 154, 155 はスライド部材 112, 114 の内側側壁 157 における対応する孔 156, 158 内に位置する。

【0042】

レバー 130 は、縮めた位置である第一の位置にロックされている。縮めた位置では、結合部分 139 は少なくとも部分的に複数の凹み 124, 126, 128 のうちの第一の凹み内に位置し、切り欠き 138 は第一の凹み 124 の側壁 152 と係合して、レバー 130 とスライド部材 112, 114 がベース 110 に対してスロット 116, 118 と平行に動くことを阻止する。

20

【0043】

拡張可能な旅行かばん 10 を広げる方法は、レバー 130 をロックされていない位置に回すステップを有する。回転のためにレバー 130 を持ち上げると、スライド部材 112, 114 をベース 110 に対して十分に撓ませて、結合部分 139 の切り欠き 138 が凹み 124, 126, 128 の側壁をクリアするためのスペースを与えることができる。結合部分 139 はレバー 130 の回転を容易にするように丸めることができ、凹み 124, 126, 128 の底面 150 をアーチ形にして、結合部分 139 を受け入れて凹み 124, 126, 128 内で結合部分 139 が回転しやすくすることができる。ロックされていない位置で、停止ペグ 133, 134 はレバー 130 が第一のロックされた位置に対して 180 度より大きく回ることを阻止する。次に、この方法は、レバー 130 とスライド部材 112, 114 をベース 110 に対してスロット 116, 118 と平行にスライドさせるステップを有する。次に、レバー 130 は第二の位置にロックされ、これは広げた位置であってもよい。広げた位置では、結合部分 139 は複数の凹み 124, 126, 128 のうち第二の凹み 126 内に少なくとも部分的に位置し、切り欠き 138 は第二の凹み 126 の側壁 152 と係合してレバー 130 とスライド部材 112, 114 がベース 110 に対してスロット 116, 118 と平行に動くことを阻止する。

30

【0044】

(説明のためであって限定するものではない図 2B と 4B に示されるように) ユーザーはハンドル 132 を握り、レバー 130 を停止ペグ 133, 134 の方へ戻すように回すことによって、レバー 130 をロックされない位置に動かすことができる。停止ペグ 133, 134 は、レバーがロックされない位置に動かされるとレバー 130 に当接し、レバー 130 がロックされた位置から 180 度回ることを阻止し、レバー 130 のハンドル 132 をベース 110 の上の位置に維持し、ユーザーがハンドル 132 を容易に握ることができるようにする。別の実施形態では、レバー 130 の回転軸に対する停止ペグ 133, 134 の高さや位置を変えて、レバー 130 をベース 110 の上に保つことができる最小高さを調整することができる。ある典型的な実施形態では、レバー 130 のハンドル 132 の底面は、それぞれの停止ペグ 133, 134 に当接したときに、スライド部材 112

40

50

、 1 1 4 の底面から約 1 2 m m の高さに達する。さらに、他の停止ペグ 1 3 5 , 1 3 6 も同様に、レバー 1 3 0 がロックされた位置から 1 8 0 度回ることを阻止し、停止ペグ 1 3 3 , 1 3 4 が破損した場合でも、レバー 1 3 0 のハンドル 1 3 2 をベース 1 1 0 の上方に維持し、ハンドル 1 3 2 をユーザーが容易に握ることができるようにする。

【 0 0 4 5 】

ロックされていない位置で、レバー 1 3 0 とスライド部材 1 1 2 , 1 1 4 はベース 1 1 0 に対して垂直軸 5 6 上で凹み 1 2 6 の方へ上げた位置までスライドさせることができる（説明のためであって限定するものではない図 2 C に示されるように）。上げた位置に達すると、レバー 1 3 0 の結合部分 1 3 9 が凹み 1 2 6 と隣接する状態で、ユーザーはレバー 1 3 0 を停止ペグ 1 3 3 , 1 3 4 から離れるように前方へ回して結合部分 1 3 9 を凹み 1 2 6 と係合する位置にし、結合部分 1 3 9 を凹み 1 2 6 の底面 1 5 0 の載せ、切り欠き 1 3 8 が凹み 1 2 6 の側壁に係合した形でブラケットをロックすることができる。

10

【 0 0 4 6 】

ブラケットは、（説明のためであって限定するものではない図 2 D に示されるように）レバー 1 3 0 のロックを外し、結合したレバー 1 3 0 とスライド部材 1 1 2 , 1 1 4 をベース 1 1 0 に対して垂直軸 5 6 上で凹み 1 2 8 の方へスライドし、結合部分 1 3 9 を回して凹み 1 2 8 と係合させてレバー 1 3 0 をロックすることによって、凹み 1 2 8 に対応する別の上げた位置へ上げることができる。同様に、ブラケットは、レバー 1 3 0 のロックを外し、結合したレバー 1 3 0 とスライド部材 1 1 2 , 1 1 4 をベース 1 1 0 に対して垂直軸 5 6 上で高くなっているプラットホーム 1 4 0 の方へスライドし、結合部分 1 3 9 を回して所望の凹みと係合させてレバー 1 3 0 をロックすることによって、縮めることができる。ブラケットを上げたり縮めたりするこれらのステップは、旅行かばんの所望のサイズと形態に応じて図に示されているよりも多数の又は少数の凹みによって実行することができ、上げた位置の数はレバー 1 3 0 がアクセスできる凹みの数に依存し、好ましい凹みの数は 2 又は 3 である。

20

【 0 0 4 7 】

図 1 の模型に見られるように、結合したレバー 1 3 0 とスライド部材 1 1 2 , 1 1 4 のベース 1 1 0 に対する垂直軸 5 6 上の直線運動は、ベース 1 1 0 の卵形の開口 1 1 6 , 1 1 8 内のスライド部材 1 1 2 , 1 1 4 の突起 1 6 4 の動く範囲によって制限できる。結合したレバー 1 3 0 とスライド部材 1 1 2 , 1 1 4 のベース 1 1 0 に対する垂直軸 5 6 上の直線運動は、さらに、縮めた位置でスライド部材 1 1 2 , 1 1 4 に当接する高くなったプラットホーム 1 4 0 によっても制限できる。結合したレバー 1 3 0 とスライド部材 1 1 2 , 1 1 4 のベース 1 1 0 に対する垂直軸 5 6 上の直線運動は、さらに、ブラケットが縮めた位置にあるときスライド部材 1 1 2 , 1 1 4 の第二の突起 1 6 6 がベース 1 1 0 の対応する凹部に当接する場合、各スライド部材 1 1 2 , 1 1 4 の第二の突起 1 6 6 によっても制限できる。

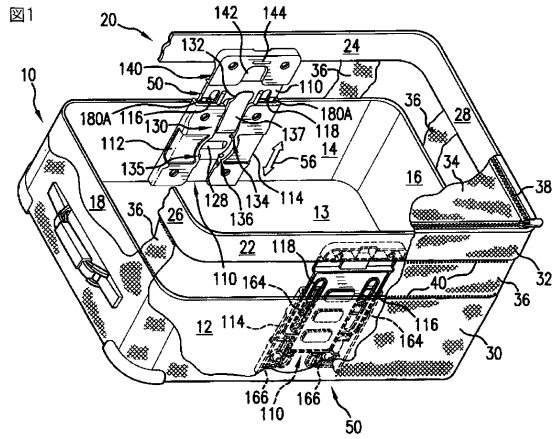
30

【 0 0 4 8 】

本明細書において、本発明をいくつかの典型的な実施形態に関して説明したが、当業者は、開示された発明に対して、その特許請求の範囲から逸脱することなく様々な変更や改良を加えることができることを認識されるであろう。そのように、上で開示され以下で特許請求される個別の特徴は、本発明の範囲内で別の仕方で互いに組み合わせることができ、本発明が他の可能な置き換えと組合せを有する実施形態に向けられることが認識されるであろう。開示された本発明のシステムと方法には、本発明の精神と範囲から逸脱することなく様々な変更と変形が可能であることは当業者には明らかであろう。すなわち、本発明は、添付された特許請求とその同等物の範囲内にある変更と変形を含むものである。

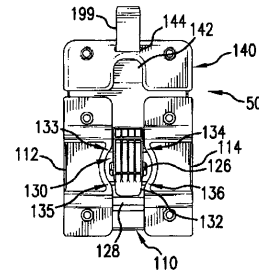
40

【図 1】



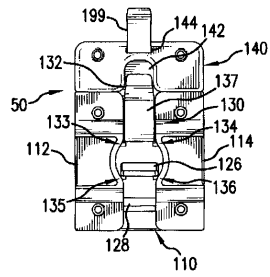
【図 2 B】

図2B



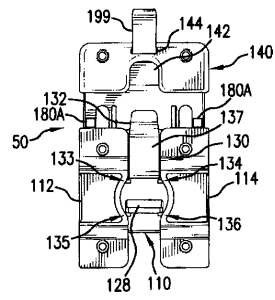
【図 2 A】

図2A



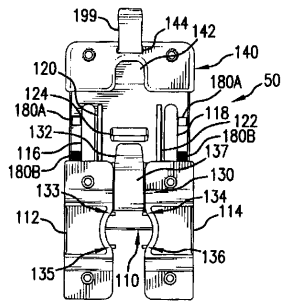
【図 2 C】

図2C



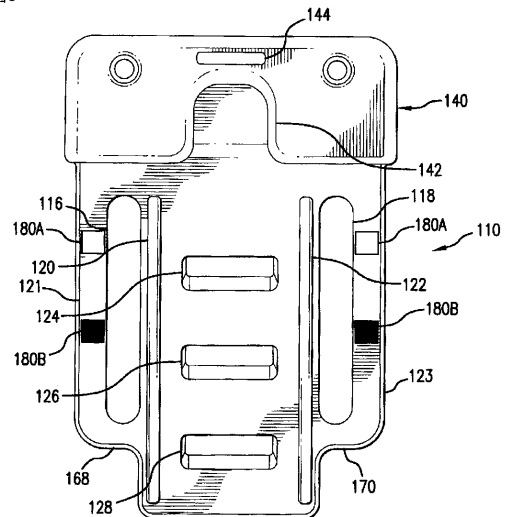
【図 2 D】

図2D



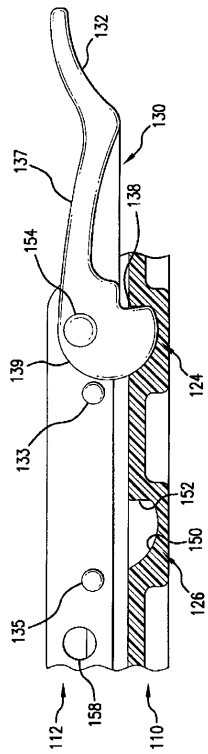
【図 3】

図3



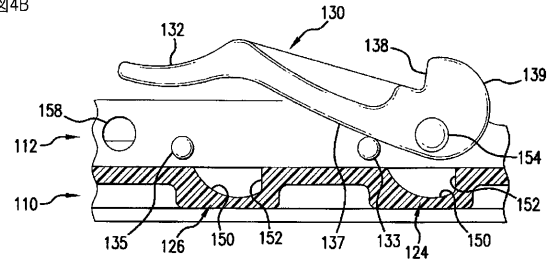
【図 4 A】

図4A



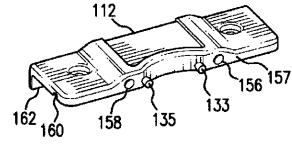
【図 4 B】

図4B



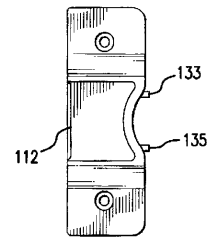
【図 5】

図5



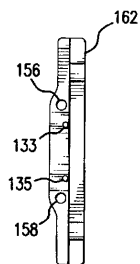
【図 6】

図6



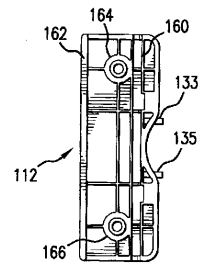
【図 7】

図7



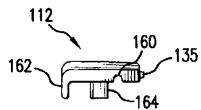
【図 9】

図9



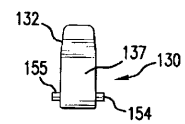
【図 8】

図8



【図 10】

図10



フロントページの続き

(74)代理人 100171251

弁理士 篠田 拓也

(72)発明者 ボール ビクター シクルナ

アメリカ合衆国, ペンシルベニア 19047, ペンデル, オークランド アベニュー 977

Fターム(参考) 3B045 AA01 FA06